

2023年度 第1四半期決算 業績予想



2023年7月31日
日本軽金属ホールディングス株式会社

目次

1. 2023年度 第1四半期決算
2. 2023年度 上期・通期業績予想

2023年度 第1四半期決算

第1四半期決算 – 前年同期比

減収・減益 パネルシステム好調、トラック架装関連や国内自動車向けがプラスに作用も
半導体需要調整、中国自動車減速に加えアルミ地金市況反映の販価下落も影響
(億円)

	2022/4-6 実績	2023/4-6 実績	増減
売上高	1,232	1,225	△7 (△0.6%)
営業利益	34	20	△14 (△42.7%)
経常利益	41	29	△12 (△29.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	26	12	△14 (△54.8%)

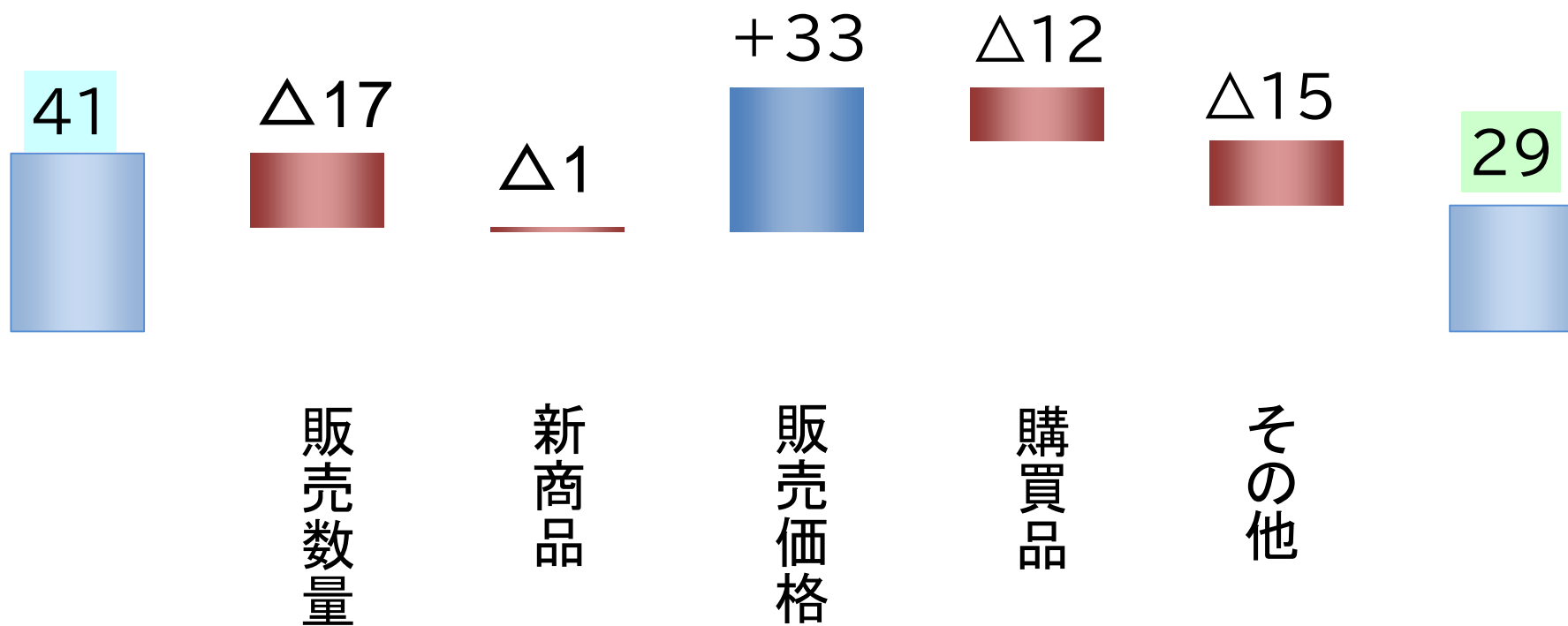
経常利益変化要因 - 前年同期比

減収・減益 販売価格改定の発現効果が原燃料価格上昇影響を上回るも、半導体製造装置向け厚板や中国自動車向けの減販影響などもあり減益

2022/4-6
実績

△12億円

2023/4-6
実績



2023年度 第1四半期決算

セグメント情報 – 前年同期比

板、押出製品：半導体製造装置向け厚板の需要調整継続に加え、中国自動車向けで販売減
加工関連、関連事業：パネルシステム需要好調とトラック架装の生産回復・収益改善が寄与

(億円)

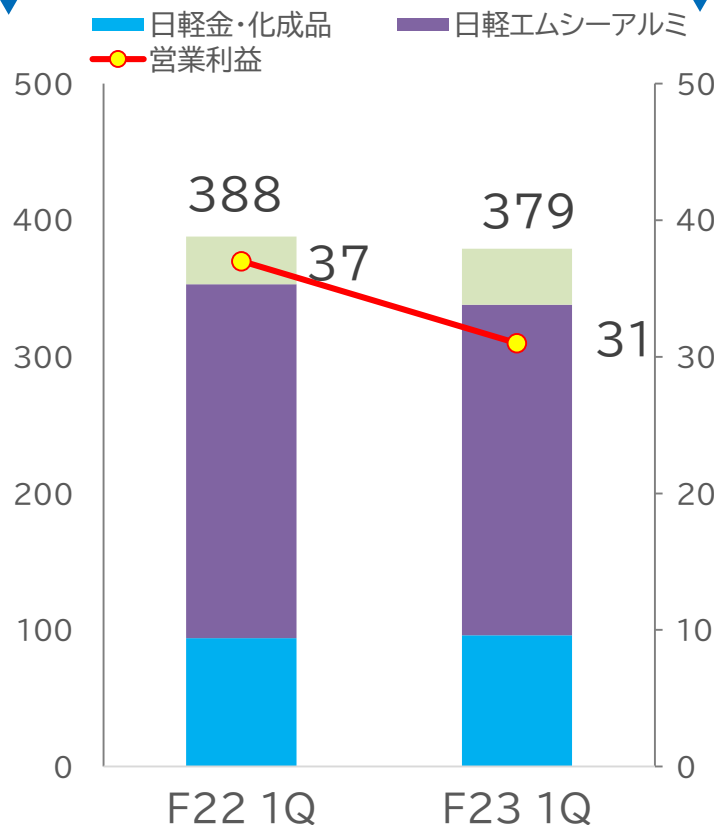
	売上高			営業利益		
	2022/4-6 実績	2023/4-6 実績	増減	2022/4-6 実績	2023/4-6 実績	増減
アルミ・化成品、 地 金	388	379	△9 (△2.4%)	37	31	△6 (△17.2%)
板、押出製品	279	229	△50 (△17.8%)	12	△12	△24 (—)
加工製品、 関連事業	322	364	+42 (+12.8%)	△13	△4	+9 (—)
箔、粉末製品	243	253	+10 (+4.1%)	8	15	+7 (+97.9%)
管理・共通	—	—	—	△10	△10	±0
合計	1,232	1,225	△7 (△0.6%)	34	20	△14 (△42.7%)

アルミナ・化成品、地金

アルミナ・化成品の収益は前年同期並に、二次合金は自動車生産回復で販売量増もアルミ市況連動の販価下落影響もあり減収・減益

売上高(億円)

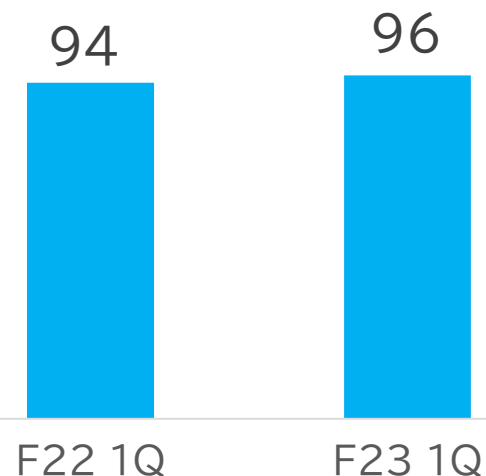
営業利益(億円)



アルミナ・化成品(日軽金・化成品)

- アルミナは耐火物・セラミックス向け中心に、化学品は有機塩化物などで販売数量は減
- 販価改定効果が寄与するも、原燃料価格高騰影響もあり前年同期比で若干減益

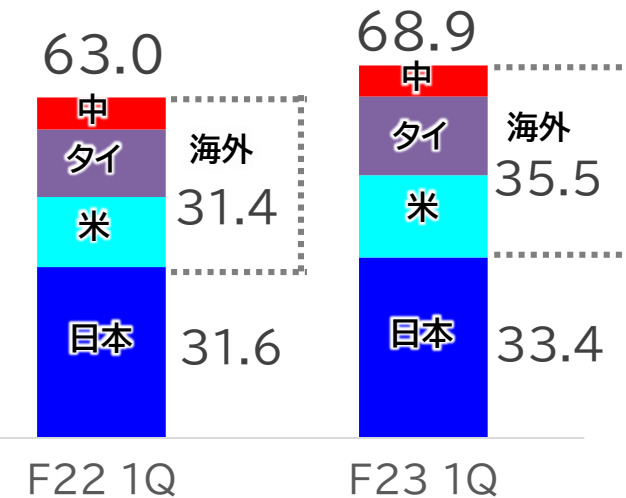
売上高
億円



二次合金(日軽エムシーアルミ)

- 日本 国内自動車生産回復基調で増販
- 海外 米国・タイで販売堅調
- アルミニウム地金市況に連動する販売価格の下落が減収・減益に影響

販売量
千t



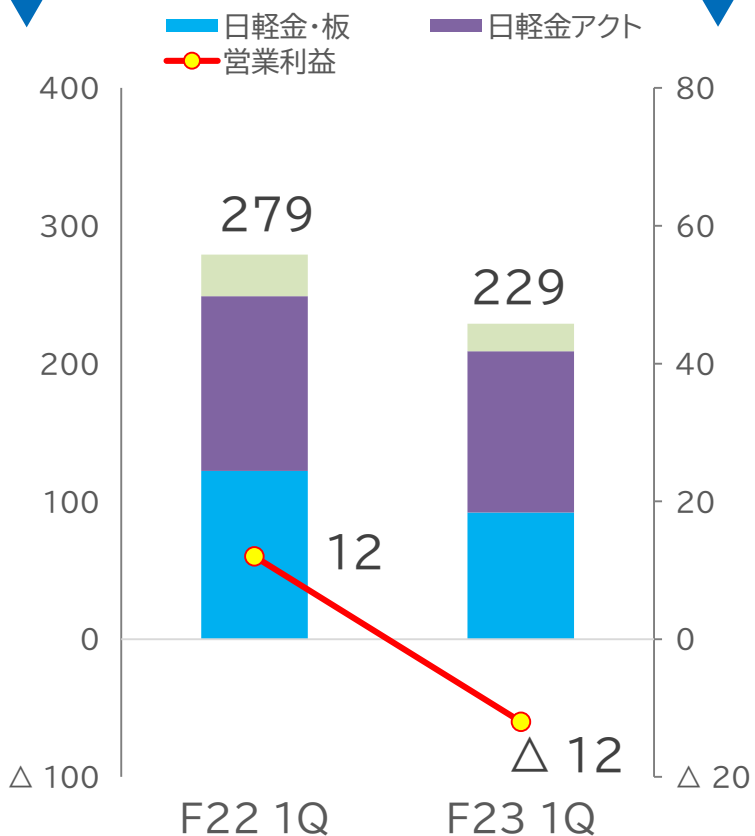
2023年度 第1四半期決算

板、押出製品

トラック・国内自動車生産の復調で販売回復基調も、半導体製造装置向け厚板の需要調整継続に加え中国自動車向け販売減もあり減益

売上高(億円)

営業利益(億円)



日軽金・板

- 前年2Qからの半導体関連の需要調整による販売減が継続
- アルミニウム地金市況に連動する販売価格の下落影響が減収・減益に影響

押出(日軽金アクト)

- トラック架装向け・国内自動車向け販売は回復途上
- 半導体製造装置向けや中国自動車向けの販売減少などにより減益

売上高
億円

売上高
億円

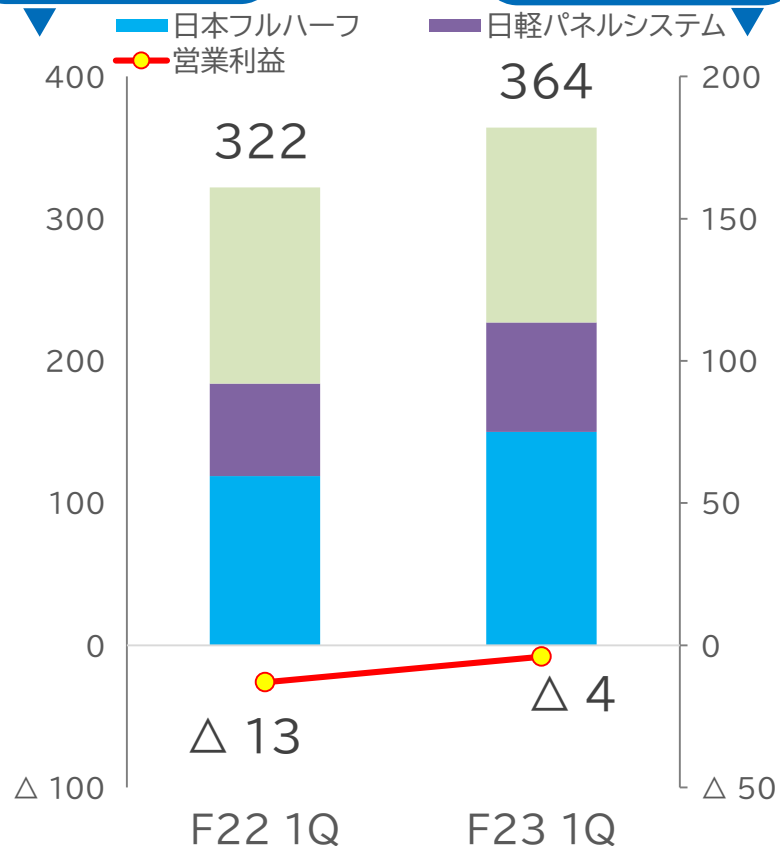
2023年度 第1四半期決算

加工製品、関連事業

トラック架装はシャシー供給安定化による生産回復での増収と販売価格改定の発現で収益改善、パネルシステムは冷凍・冷蔵分野、クリーンルーム分野ともに好調

売上高(億円)

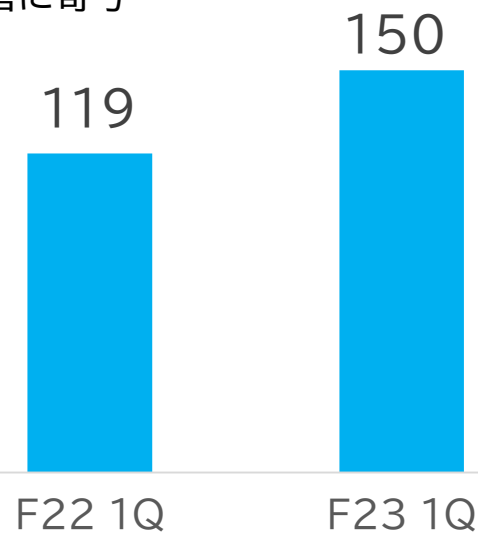
営業利益(億円)



日本フルハーフ

- サプライチェーン正常化によりトラックシャシーの供給は概ね安定し、生産回復
- 材料価格上昇が一段落したことに加え、販売価格改定効果が現れはじめたことが収益改善に寄与

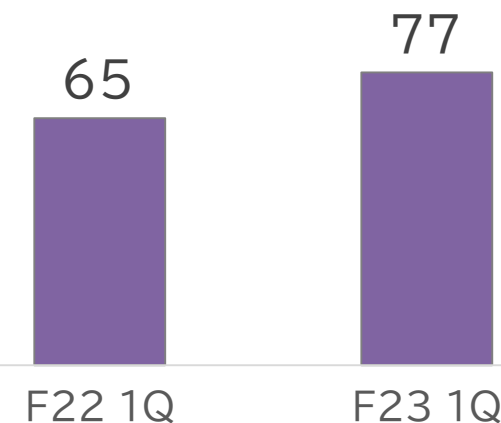
売上高
億円



日軽パネルシステム

- 冷凍・冷蔵分野は食品工場・低温流通倉庫などで大型物件増加
- クリーンルーム分野は半導体関連の材料・部品・製造装置メーカー向けの需要が旺盛

売上高
億円

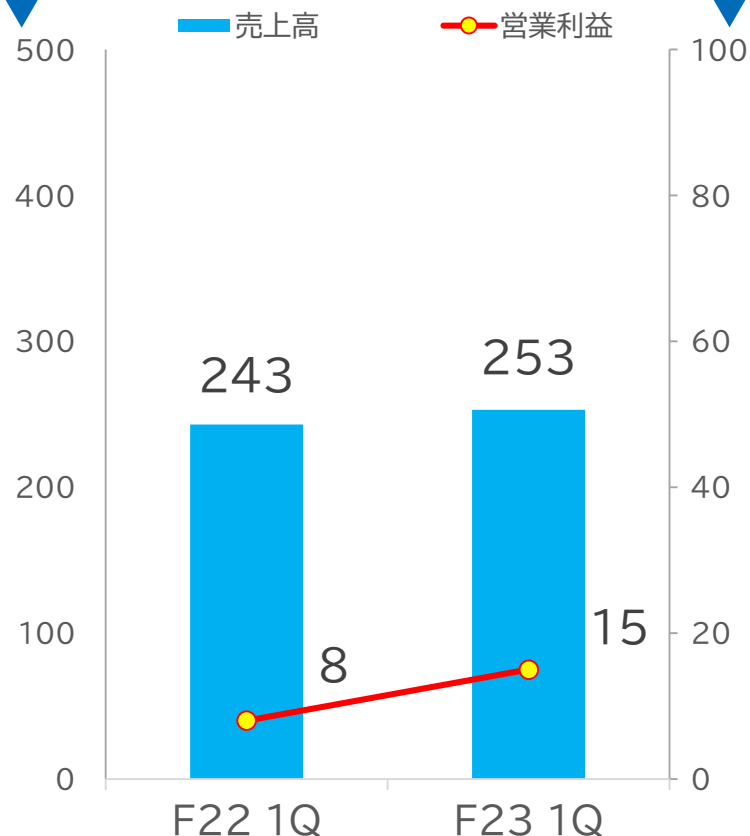


箔、粉末製品

リチウムイオン電池外装用箔の販売増、医薬包材向けと海外自動車向けペーストの増販に加え、原燃料・資材価格高騰に対する販売価格改定により増収・増益

売上高(億円)

営業利益(億円)



箔部門

- リチウムイオン電池外装用箔は自動車生産回復もあり前年同期と比べ販売増
- 医薬包材向け加工箔は販売回復傾向

パウダー・ペースト部門

- 放熱用途の電子材アルミパウダー・窒化アルミは半導体関連需要調整もあり減販
- 自動車塗料向けペーストの国内販売は緩やかに回復、海外は前年同期上回る販売

日用品部門

- コンシューマー向けはハウスクエア用品販売が堅調、アルミホイル販売価格改定効果が寄与
- パッケージ用品は冷凍食品向けなどで販売好調

目次

1. 2023年度 第1四半期決算
2. 2023年度 上期・通期業績予想

2023年度 上期・通期業績予想

上期業績予想 – 5月公表予想比

上期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が5月公表予想を上回る見込みとなったことから、上方修正

(億円)

	22年度上期 実績	23年度上期 5月公表予想	23年度上期 今回予想	増減 5月公表予想比
売上高	2,531	2,500	2,500	–
営業利益	37	25	40	+15 (+60.0%)
経常利益	52	25	45	+20 (+80.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	38	10	20	+10 (+100.0%)

2023年度 上期・通期業績予想

上期セグメント情報 – 5月公表予想比

1Q好調のパネルシステム部門や箔、粉末製品部門は2Qも同様に推移、トラック架装の業績改善は継続、自動車関連は国内回復基調続くも中国需要見通し不透明

(億円)

	売上高				営業利益			
	22年度上期 実績	23年度上期 5月公表予想	23年度上期 今回予想	増減 5月公表予想比	22年度上期 実績	23年度上期 5月公表予想	23年度上期 今回予想	増減 5月公表予想比
アルミ・化成品、 地金	791	760	760	±0	62	55	55	±0
板、押出製品	555	440	430	△10 (△2.3%)	4	△15	△15	±0
加工製品、 関連事業	688	810	810	±0	△18	0	0	±0
箔、粉末製品	497	490	500	+10 (+2.0%)	6	5	20	+15 (+300.0%)
管理・共通	—	—	—	—	△17	△20	△20	±0
合計	2,531	2,500	2,500	—	37	25	40	+15 (+60.0%)

2023年度 上期・通期業績予想

通期業績予想

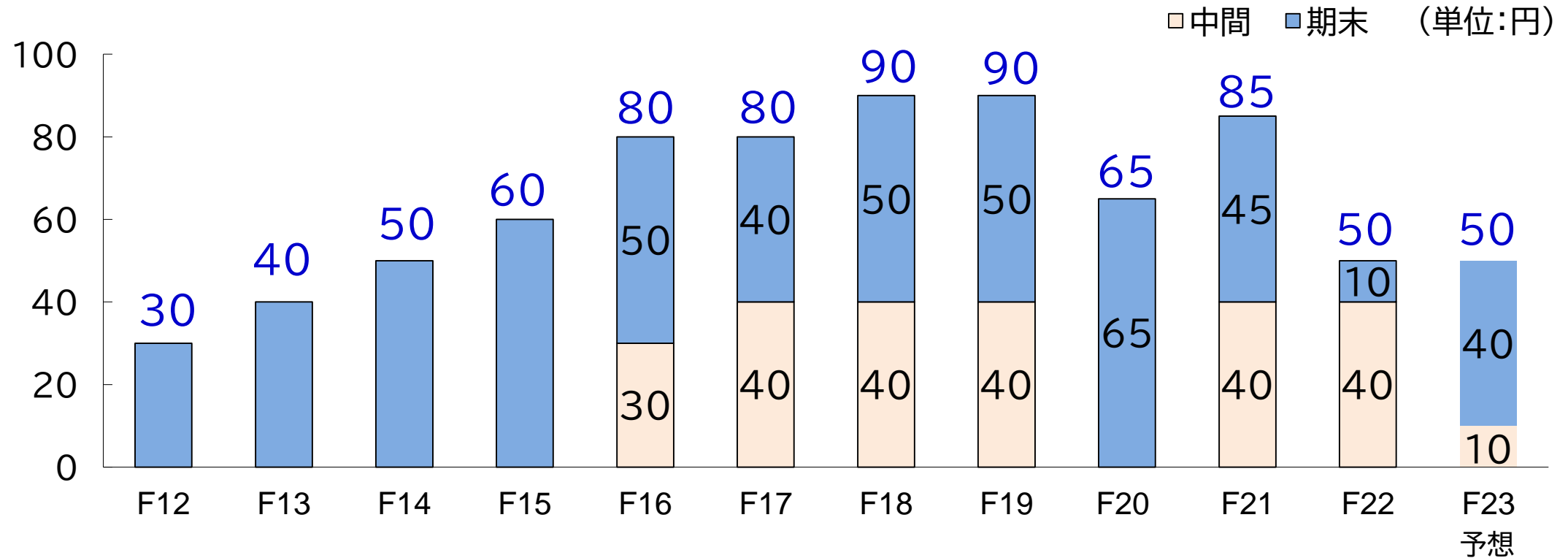
半導体関連や中国・自動車関連の需要見通し不透明感なども鑑み、
2023/5/15公表予想を据え置き

(億円)

	2022年度 実績	2023年度 予想	増減
売上高	5,170	5,500	+330 (+6.4%)
営業利益	75	170	+95 (+125.5%)
経常利益	89	160	+71 (+80.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	72	75	+3 (+4.1%)
1株当たり配当金	50円	50円	±0

2023年度 上期・通期業績予想 1株当たり配当金

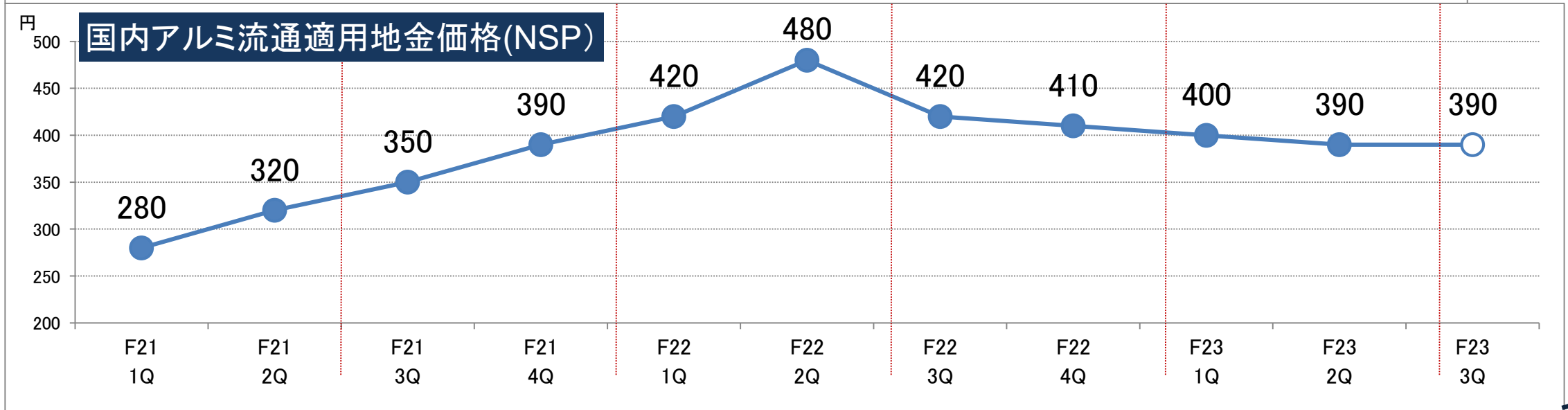
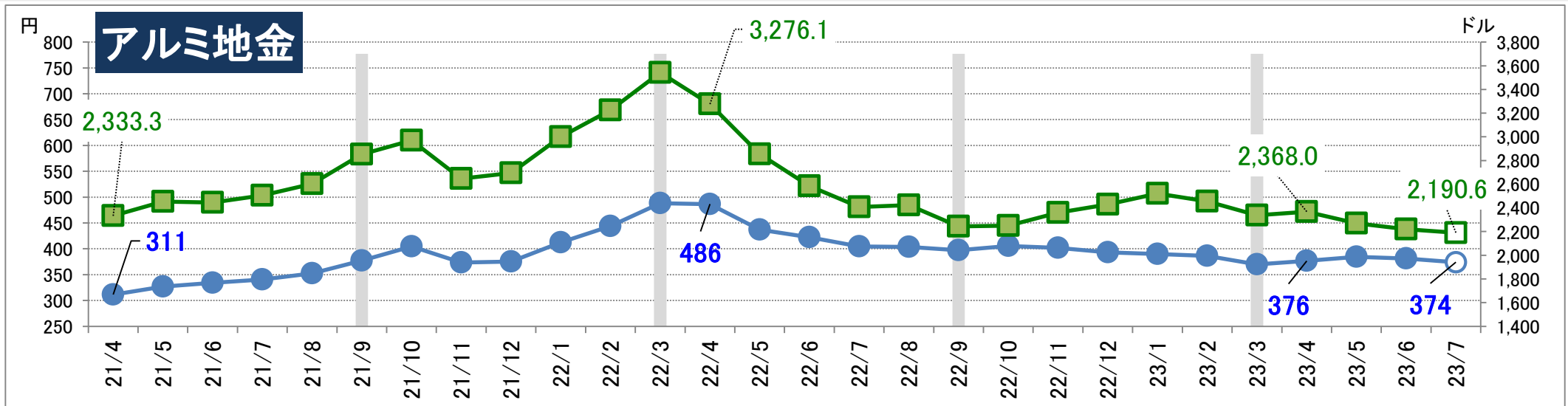
中間・期末ともに2023/5/15公表予想を据え置き



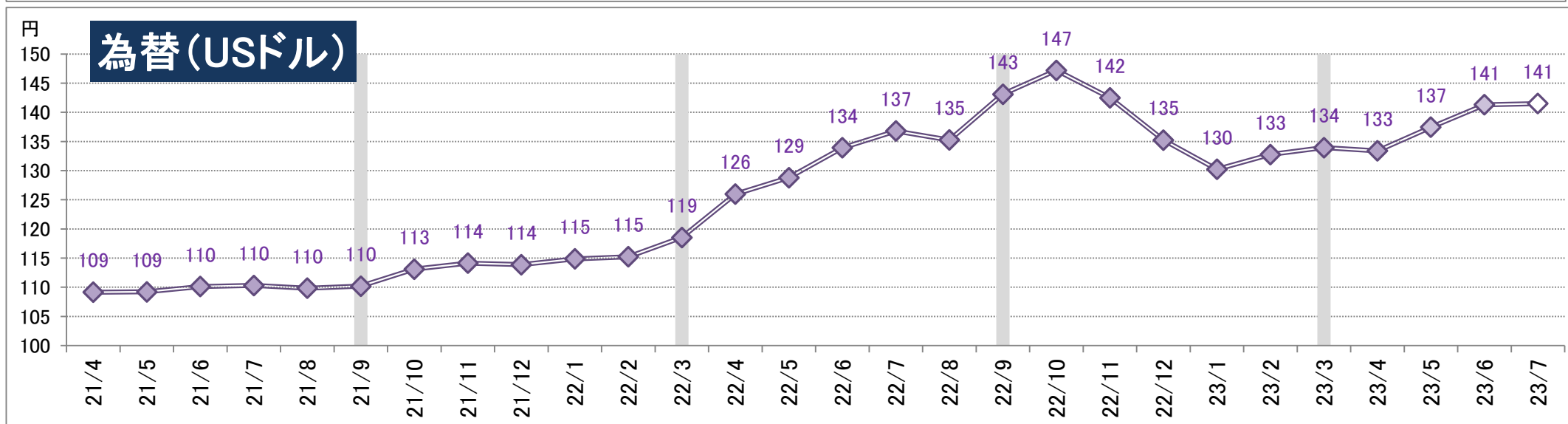
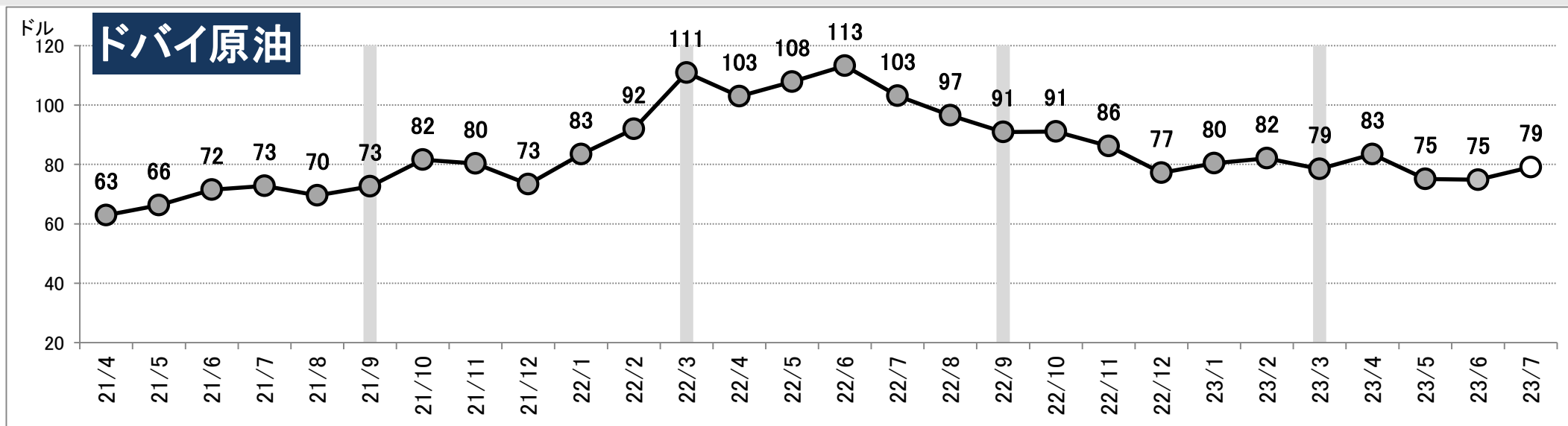
当社は2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しておりますので、2019年度(2020年3月期)以前の1株当たり配当額については、当該株式併合の影響を考慮した金額としております。

補足資料

アルミ地金価格推移



原油価格・為替推移



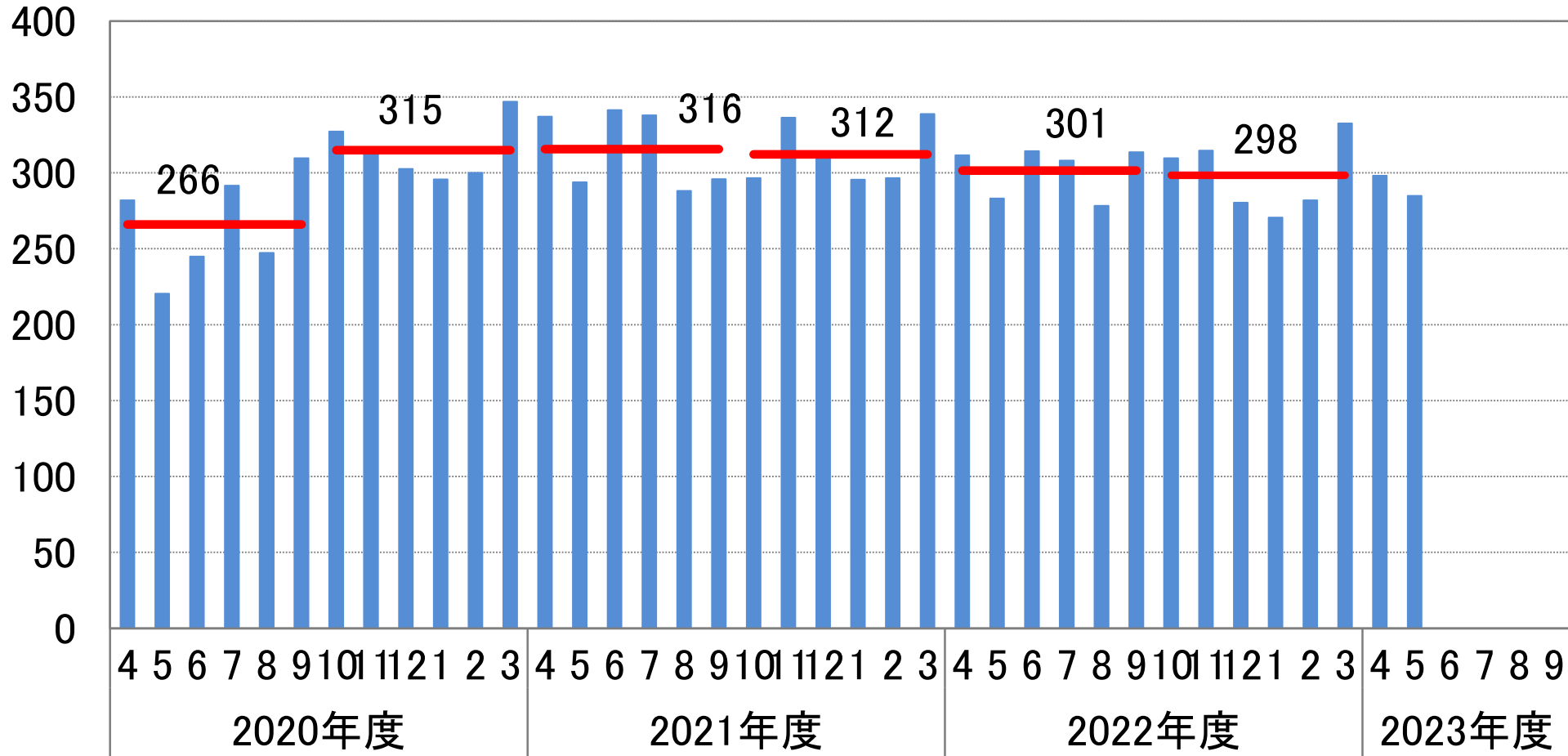
諸元と感応度

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 予想	23/4-6 実績	経常利益への 感応度
アルミ地金 (円/kg)	378	408	400	381	10円/kg上昇した場合 △5億円/年
為替 (円/米ドル)	112	135	140	137	10円円高となった場合 △5億円/年
ドバイ原油 (米ドル/BBL)	78	93	95	78	10ドル/BBL上昇した場合 △6億円/年

国内アルミ製品総需要の推移

(千トン)

<出所:日本アルミニウム協会>



補足資料

製品販売量

	2022/4-6 実績	2023/4-6 実績	(千t) 増減
日軽エムシーアルミ(二次合金)	63.0	68.9	+5.9 (+9%)
国内	31.6	33.4	+1.8 (+6%)
海外	31.4	35.5	+4.1 (+13%)
日軽金・板(板製品)	18.2	14.0	△4.2 (△23%)
日軽金アクト(押出製品)	7.7	8.9	+1.2 (+16%)

主要会社の業績

(億円)

	2022/4-6 実績			2023/4-6 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属(単体)	396	24	62	357	9	45
東洋アルミニウム(連結)	244	8	13	254	15	19
日軽エムシーアルミ(連結)	259	8	9	242	5	6
日本フルーフ(連結)	119	△12	△12	150	△5	△5
日軽金アクト(連結)	127	0	1	117	△9	△8
日軽パネルシステム(連結)	65	5	5	77	9	9

通期セグメント情報 – 前期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2022年度 実績	2023年度 予想	増減	2022年度 実績	2023年度 予想	増減
アルミナ・化成品、 地金	1,560	1,600	+40 (+2.6%)	102	105	+3 (+2.9%)
板、押出製品	1,074	1,050	△24 (△2.2%)	△6	5	+11 (—)
加工製品、 関連事業	1,532	1,820	+288 (+18.8%)	1	70	+69
箔、粉末製品	1,004	1,030	+26 (+2.6%)	15	30	+15 (+97.6%)
管理・共通	—	—	—	△37	△40	△3
合計	5,170	5,500	+330 (+6.4%)	75	170	+95 (+125.5%)

本資料についての注意事項

1. 本資料は2024年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。